

活用事例① 「小学校 総合的な学習の時間」
ロービジョン体験キットの使用を通して

実践例と解説

当センターの「ロービジョン体験キット」は、「視野狭窄体験」「コントラスト低下体験」「盲体験」ができる三種1セットの眼鏡です。

総合的な学習の時間で、その中の「視野狭窄体験」「コントラスト低下体験」の眼鏡を用いて実際に授業が行われた実践例を一部紹介します。



ロービジョン体験キット

題材名	みんなちがって みんないい
ねらい	・体験を通して、一人では大変でも、人に助けてもらったり工夫した環境があったりすると、できることが増えることを知る。
学習内容 (抜粋)	<p>①視野狭窄眼鏡体験（ペアの一方が眼鏡をかけている状態）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で、シートに描かれた桃をいくつ見つけられるか。 ・ペアの相手が支援して、再度、桃をいくつ見つけられるか。 ・眼鏡をかけていた児童が、眼鏡を外してシートを確認する。 <p>②コントラスト低下体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼鏡をかけて、国語の教科書を見てみる。 ・コントラストや文字の大きさの違いのあるシートを見てみる。

※枠内は、利用した学校の学習指導案（略案）より一部引用、一部改編



体験学習を行うことで、児童自身の想像以上に「見えづらさ」を体感し、「(普段眼鏡をかけているが、外した時に比べても)全然見えない！」などの感想を聞くことができました。

また、「特別支援学級には、こういう見え方の人はいるんですか？」と質問するなど、身近なこととして捉える児童もいました。

（授業後の休み時間の児童の様子より）



使い方アイデア

当センターには、他に「白杖」、「点字ブロック」も貸出しを行っています。「ロービジョン体験キット」と併せて活用することで、授業の活動の幅が広がります。（ただし、安全面には十分に留意しましょう。）